

**もっと、誰もが英語を話せるようになる日本にしたい
その一つの答えを伝えたいと思います。**



世界で100億人以上
言語の基礎習得に成功した方法があります。

それは「育ての親の言葉を真似る」

生まれた環境に必要な言葉を人間は話せるようになります。

「**生きるのに必要**」だからです。



第一言語は育ての親から数年かけて土台を作ります。

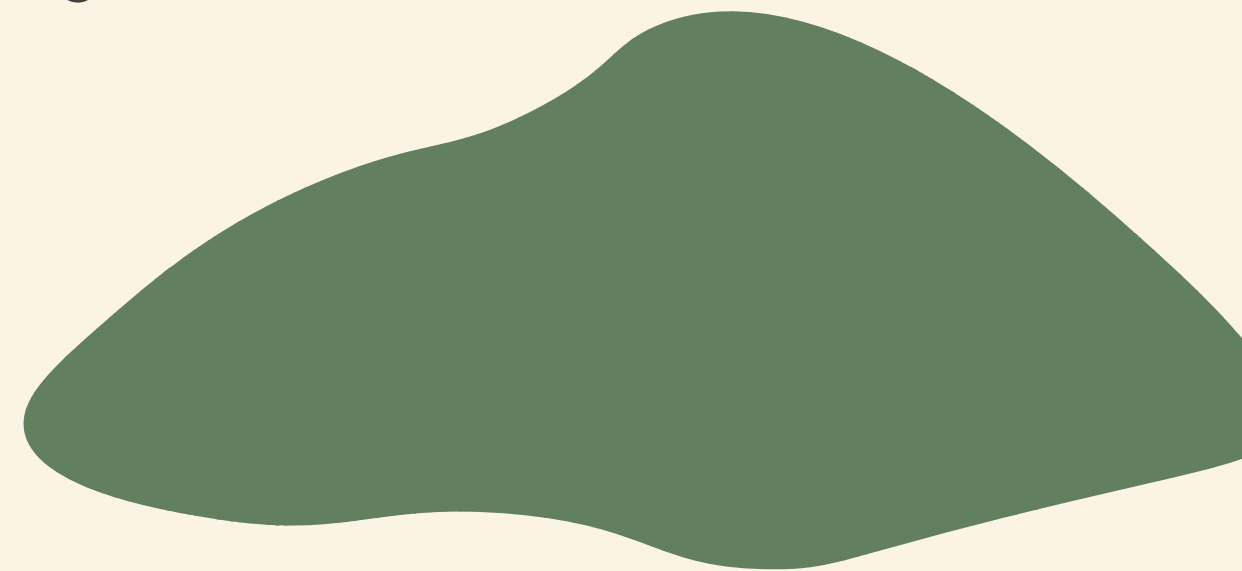
何度も耳で聞いて

聞いた言葉からそのイメージを理解し

それを自身の口で発し始め

模倣を繰り返して

言葉と言葉がリズムでつながっていきます。



土台とは？日本語で例えれば

日本人の話す速度の言葉を聞きとれて

日本人と同じ発音で言葉に出し

良く使う言葉を覚えており

流暢なリズムを持っている

この土台があれば、あとは加えていくだけです。



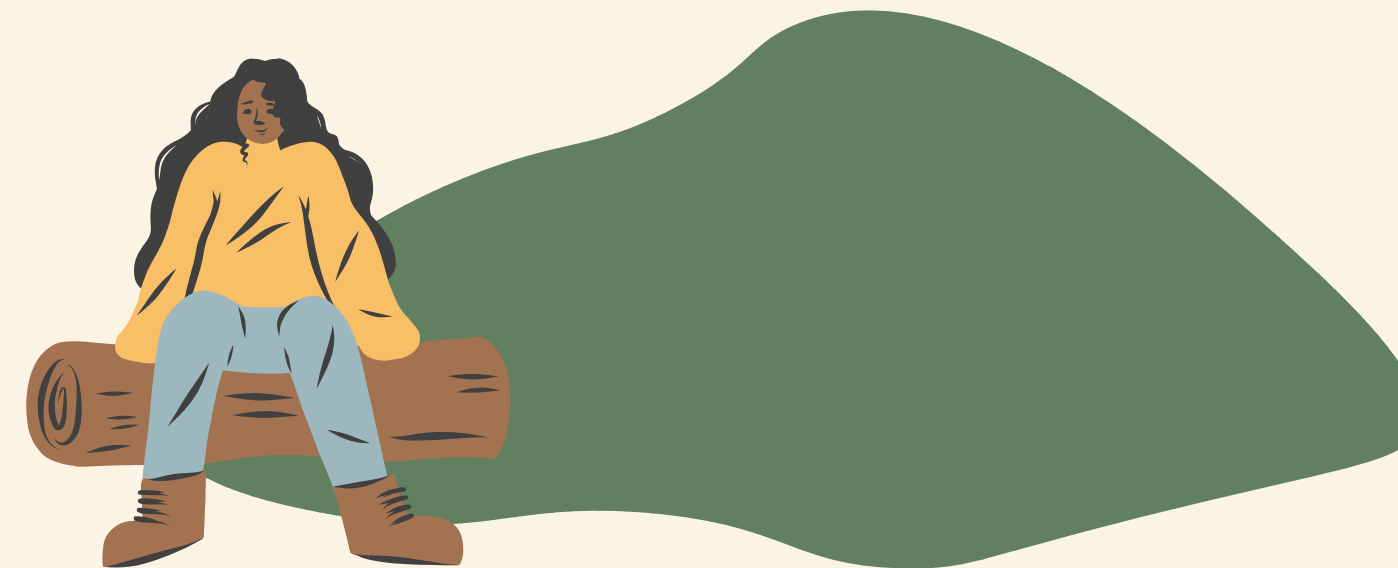
この土台が全くなく

「日本語の単語5千語と細かい文法を英語で説明できる人」

この人は日本語で会話が出来るでしょうか？

おそらく何を話しているのか、わかってあげられません。

多くの英語学習で起きているのはそういう事です。



第2言語でも、同じ順番で土台作りはできます。

**ただ、幼少時のような時間はありませんし
生きるのに必要な母国語をすでに覚えています。**

**そこにハードルがありますが
効果的なトレーニングで
半年で土台をつくることも不可能ではありません。**



英語の土台作りのポイントは実際にはこの一つだけです。

- ・ **脳に英語のコアな長期記憶をつくる。**
(正しい音とイメージで、いつでも使えるように。)



英語の長期記憶の作り方は

関連性と情景を合わせて覚える

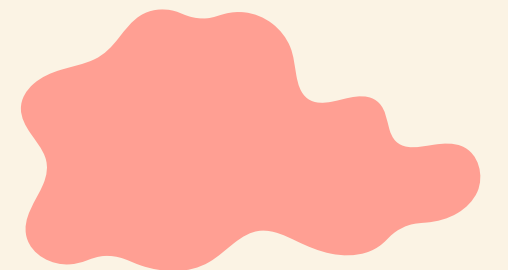
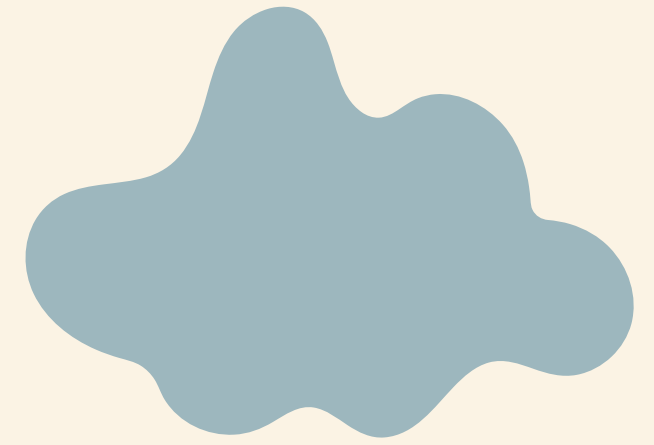
身体と心も合わせて覚える

正しい発音を何回も聞く

何回も使う

何回も思い出し自分の言葉として使う

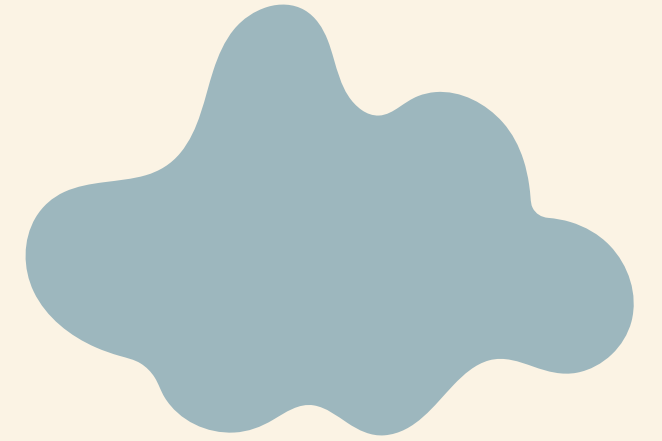
この実践を最低3か月は続けないと
脳が生きるのに必要だと思ってくれません。



その時に大切なのは

間違った発音で記憶を作ってしまうと
ネイティブの正しい発音が聞こえなくなる

だから、ネイティブの発音、発声法を追求しながら
筋肉も変えながら、記憶をつくる必要があります。

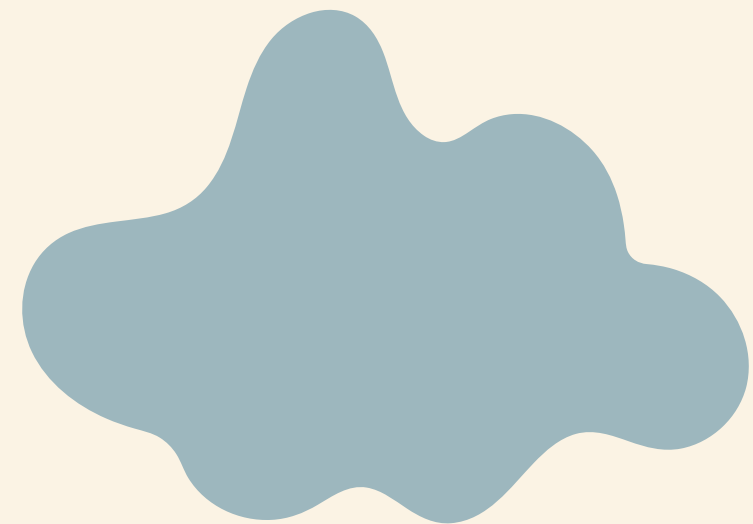
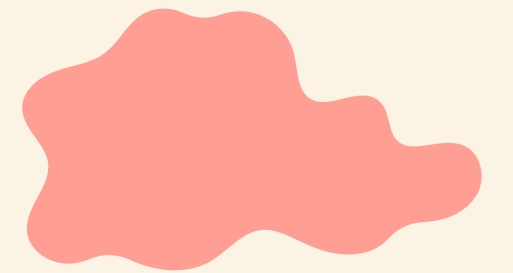


日本人として日本で暮らしていると

**日常生活から夢の中まで年中無休体制で
全部をやっている事が解りますよね？**

第2言語でそれをどうやって継続してやるか

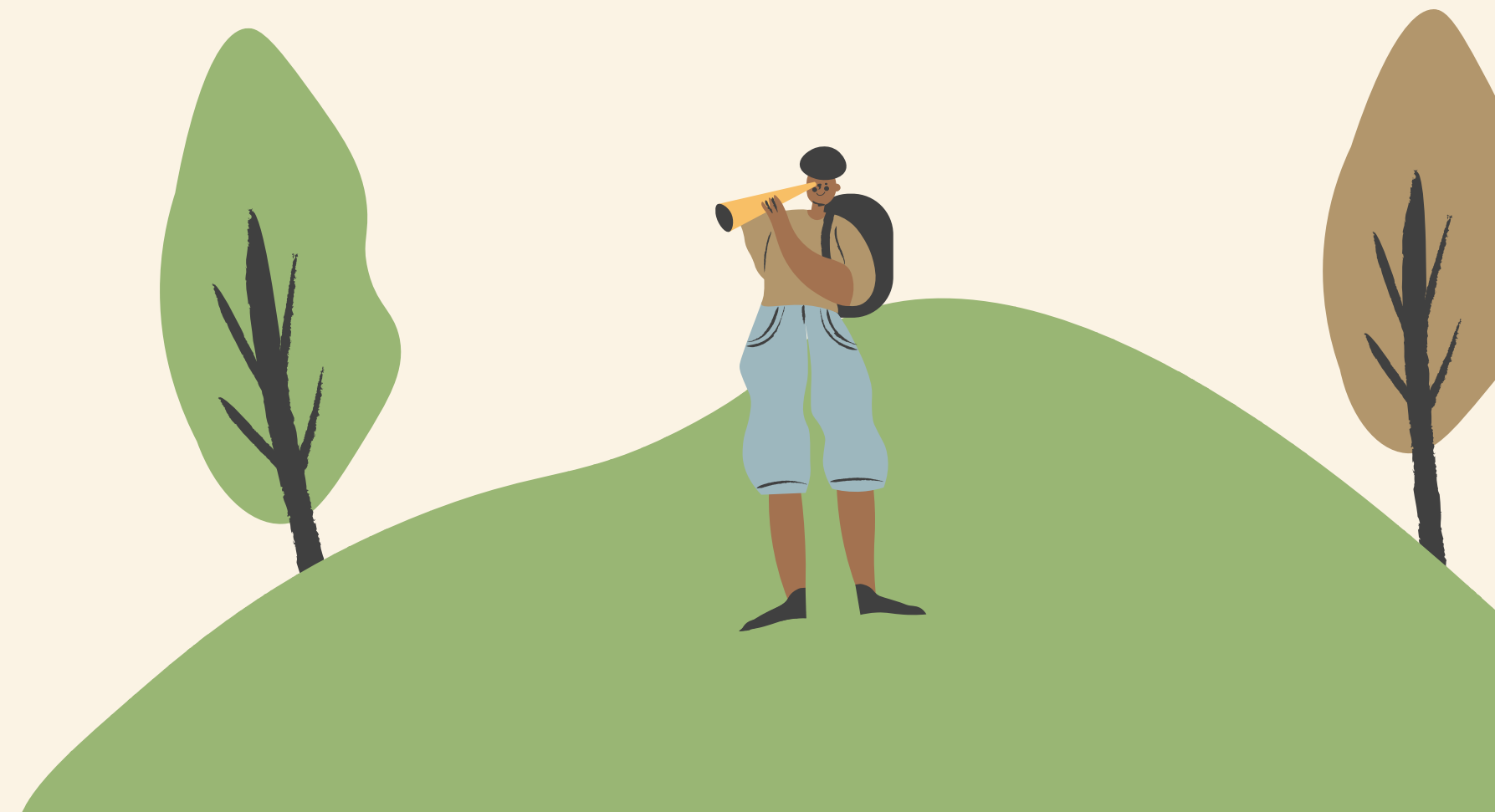
結局はそこが最大のハードルです。





学習方法は様々存在すると思いますが

ここではリレインの提唱する音読劇ワークをお伝えします。



音読劇ワークでは英語作品を使用します。

- ・ **日本語翻訳で読み込み、世界をイメージする。**
- ・ **ネイティブの音声をシャドーイングで本気で真似る。**
- ・ **情景をイメージしながら暗唱をする。**
- ・ **その世界の登場人物になりきり音読劇。**

**この順番でおこなうことで、作品を深く楽しみながら
長期記憶で定着させます。**



**深く深くしっかりと、英語音声10分の英語作品を
自分のものにするトレーニングによって**

英語を聞き取る耳と理解する脳

英語を話せる口と呼吸法

英語のリズム

生きた単語表現

飛躍的にレベルアップします。

これが土台になります。



この方法が特に優れているのは

今まで学習した知識がさほど関係ないこと

そして集中力を使い、発声に深い呼吸と筋肉を使うので

健康になって、頭が良くなります。

英語上達と健康づくりが同時にできる
とても素晴らしいと思いませんか？



これに加えておすすめしている方法は

**英語で独り言日記スピーチ
英語話者の気持ちで生活する**

などがあります。

これも習慣化すると、とても効果があります。



たくさんの英語学習法がありますが

**音読劇は非常に効果的かつ費用の負担の少なく
健康にも優れた方法です。**

**これをサポートしていくコミュニティとして
リレインを行っていきたいと考えています。**

